

作成日 2008年12月01日
改訂日 2017年04月01日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 HCボンド 主剤

会社名 保土谷建材株式会社

住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番1号

担当部門 技術部

電話番号 03-5299-8170 FAX番号 03-5299-8275

メールアドレス hcp@hodogaya.co.jp

緊急連絡先 03-5299-8170 弊社

奨励用途及び使用上の制限 工業用 (建築用接着材 等)

整理番号 H-6-16

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：

有害性： 眼及び上部呼吸器、気管を刺激する。

物理的及び化学的危険性：

消防法危険物第4類第4石油類。

特定の危険有害性：情報なし。

分類の名称 (分類基準は日本方式)： 分類基準に該当しない。

GHS分類

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (吸入)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼損傷/眼刺激性	区分2A
皮膚感作性	区分1
呼吸器感作性	区分1
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
標的臓器/全身毒性-単回暴露	
気道刺激性	区分3
標的臓器/全身毒性-反復暴露	
呼吸器	区分1
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

*記載がないものは分類対象外または分類できない。

ラベル要素：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報

- ・ 吸入すると有害
- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 吸入するとアレルギー、喘息、呼吸困難を起こすおそれ
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 長期にわたるまたは反復暴露による臓器（呼吸器）の障害

注意書き

[予防策]

- ・ 保護手袋を着用すること
- ・ 取扱い後、よく手を洗うこと
- ・ 保護眼鏡・保護面を使用すること
- ・ ミスト・蒸気等の吸入を避けること
- ・ 汚染された作業着は作業場から出さないこと
- ・ 換気が充分でない場合には呼吸用保護具を着用すること
- ・ この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること

[対応]

- ・ 皮膚についた場合、大量の水と石鹸で洗うこと
- ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合には医師に連絡すること
- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 気分が悪いときには医師に連絡すること

[保管]

- ・ 施錠して保管すること
- ・ 容器は密閉して換気の良い場所で保管すること

[廃棄]

- ・ 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物

化学名 ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート

一般名 ウレタン接着剤の主剤

成分	含有量	化学式	官報公示整理番号
	%		(化審法・安衛法)

ポリメチレンポリフェニルイソシアネート	50~60	$C_6H_4NCO-[C_6H_4NCO-CH_2]_n-C_6H_4NCO$	$n=0\sim(7)-872$
メチレンビス(4,1-フェニル)イソシアネート	44	$OCNC_6H_4CH_2C_6H_4NCO$	(4)-118

成分	CAS No.	化学物質管理促進法	労働安全衛生法 第57条の2 第1項 通知対象物
ポリメチレンポリフェニルイソシアネート	9016-87-9	非該当	非該当
メチレンビス(4,1-フェニル)イソシアネート	101-68-8	政令番号 1-448	該当

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の清浄な場所に移し、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用してよく洗う。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・本人が自発的に吐くことが可能ならば吐き出させる。他人が無理に吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、が有効である。

特定の消火方法： 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。

消火を行う者の保護： 燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスを発生するので消火作業には呼吸器用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 作業の際には適切な保護具（ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境へ影響を起すことがないように注意する。

除去方法： 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量流出の際には、盛り土で囲って流出を防止する。流出物はスコップなどで密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。

二次災害の防止策： 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。

注意事項 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。

安全取扱い注意事項

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
使用済みウエス、塗料かす等は廃棄するまで水につけておく。

保管：

適切な保管条件

- ・火気、熱源から遠ざけて保管。風通しの良いところに保管する。
- ・雨水や直射日光を避けるために防水シートで覆うこと。

安全な容器包装材料 石油缶など。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置の設置を行う。取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

管理濃度： 作業環境評価基準に規定なし

許容濃度： メルビンス(4,1-フェニル)ジイシアネート

日本産業衛生学会（2005年版） 0.05mg/m³

ACGIH（2005年版） TWA0.005ppm

保護具

呼吸器用の保護具 必要に応じて有機ガス用防毒マスクを使用。

手の保護具 耐油性（不浸透性ゴム）手袋。

目の保護具 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 静電気防止作業衣、安全靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：透明液体

色：茶褐色

pH：データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲：

融点：データなし

沸点：データなし

引火点：223℃

発火点：データなし

爆発特性：データなし

蒸気圧：0.001Pa(25℃、MDI)

蒸気密度：データなし

比重：1.22~1.24

溶解性

溶媒(トルエン・酢酸エチル・アセトン)に可溶 水に難溶

オクタノール/水分配係数：データなし

分解温度：データなし

その他のデータ：データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 窒素ガス等不活性ガスで置換された密栓容器内においては常温で安定である。
- 反応性： 空気中の湿気と徐々に反応し、表面より固化する。
- 避けるべき材料：アルコール、アミン、水等。アルカリ、第3級アミン等により重合反応する。
- 危険有害な分解生成物：
燃焼等により一酸化炭素などの有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

- 急性毒性（経口）：メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート LD50 31,600mg/kg
上記より混合物として区分外に分類される。
- 急性毒性（吸入）：メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート LC50(4hr) 0.369 mg/L(ミスト)
上記より混合物として区分4に分類される。
- 皮膚腐食性／刺激性：メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート；区分2
上記より混合物として区分2に分類される。
- 眼損傷／眼刺激性：メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート；区分2A-2B
上記より混合物として区分2Aに分類される。
- 皮膚感作性：メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート；区分1
上記より混合物として区分1に分類される。
- 呼吸器感作性：メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート；区分1
上記より混合物として区分1に分類される。
- 変異原性：データ不足のため分類できない。
- 発がん性：データ不足のため分類できない。
- 生殖毒性：データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器／全身毒性－単回暴露
メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート；区分3（気道刺激性）
上記より混合物として区分3に分類される。
- 特定標的臓器／全身毒性－反復暴露
メレンピス(4,1-フェニル)ジイソシアネート；区分1（呼吸器）
上記より混合物として区分1に分類される。
- 吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。
- その他の情報： 情報なし。

12. 環境影響情報

- 生態毒性：
水性環境急性有害性；データ不足のため分類できない。
水性環境慢性有害性；データ不足のため分類できない。
- 残留性／分解性： データなし。
- 生体蓄積性： データなし。
- 移動性： データなし。

13. 廃棄上の注意

廃樹脂、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
容器、機器装置等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝へ流さないこと。

焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国連分類： 該当なし

国連番号： 該当なし

国内規制： 陸上輸送：消防法：危険物第4類第4石油類

容器：危険物の規制に関する規則

金属製容器（2L）

（注）容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める

容器試験基準に適合していることを自主確認すること。

容器表示：一 危険物第4類第4石油類

二 危険等級Ⅲ

三 火気厳禁

積載方法：運搬時の積み重ね高さは3m以下

輸送の特定の安全対策及び条件：

取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

15. 適用法令

安衛法 第57条の2第1項(通知) メチルビス(4,1-フェニル)ジイソシアネート

化審法 優先評価化学物質 メチルビス(4,1-フェニル)ジイソシアネート

化学物質管理促進法 メチルビス(4,1-フェニル)ジイソシアネート 第1種指定化学物質 政令番号1-448

消防法 危険物第4類第4石油類

危険物船舶運送及び貯蔵規則 該当なし

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）ホームページ GHS分類結果データベース

原料・材料メーカーのSDS

ウレタン原料工業会 「ポリウレタン原料について－安全取扱いの手引き」

ウレタン原料工業会 「MDI(モノメック及びポリメック)MDD輸送管理指針

国際化学物質安全カード（ICSC）

製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会（2001年10月）

日本工業規格 JIS Z 7253：2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

危険物船舶運送及び貯蔵規則 海文堂

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。